

令和5年度富山県内の市町村普通会計決算の状況(確定)

1. 決算規模と歳入歳出の概要

歳入総額 5,229億69百万円 (対前年度比▲11.73億円)

歳出総額 5,023億85百万円 (対前年度比+0.34億円)

新型コロナウイルスワクチン接種対象費負担金等の減により前年度より総額が減少

歳入

(1) 歳入概要 5,229億69百万円 (R④5,241億42百万円、▲0.2%)

【市町村税】 1,748億69百万円 (R④1,737億03百万円、+0.7%)

〔市町村民税(法人)〕 131億85百万円 (R④ 144億57百万円、▲8.8%)

〔市町村民税(個人)〕 586億25百万円 (R④ 575億93百万円、+1.8%)

〔固定資産税〕 840億73百万円 (R④ 829億08百万円、+1.4%)

【地方交付税】 1,014億74百万円 (R④ 983億49百万円、+3.2%)

【臨時財政対策債】 35億81百万円 (R④ 73億53百万円、▲51.3%)

【国庫支出金】 775億79百万円 (R④ 863億14百万円、▲10.1%)

○歳入の推移は次頁「一般財源、特定財源の推移」のとおり

歳出

(2) 歳出概要 5,023億85百万円 (R④5,023億51百万円、+0.0%)

【義務的経費(人件費、扶助費及び公債費)】

2,297億61百万円 (R④2,248億26百万円、+2.2%)

〔人件費〕 714億62百万円 (R④ 711億33百万円、+0.5%)

〔扶助費〕 983億47百万円 (R④ 928億84百万円、+5.9%)

〔公債費〕 599億50百万円 (R④ 608億09百万円、▲1.4%)

※ 端数処理により義務的経費計と内訳が一致しないことがある

【投資的経費(普通建設事業費及び災害復旧事業費)】

620億86百万円 (R④ 626億63百万円、▲0.9%)

○歳出の推移は次頁「性質別歳出の推移」のとおり

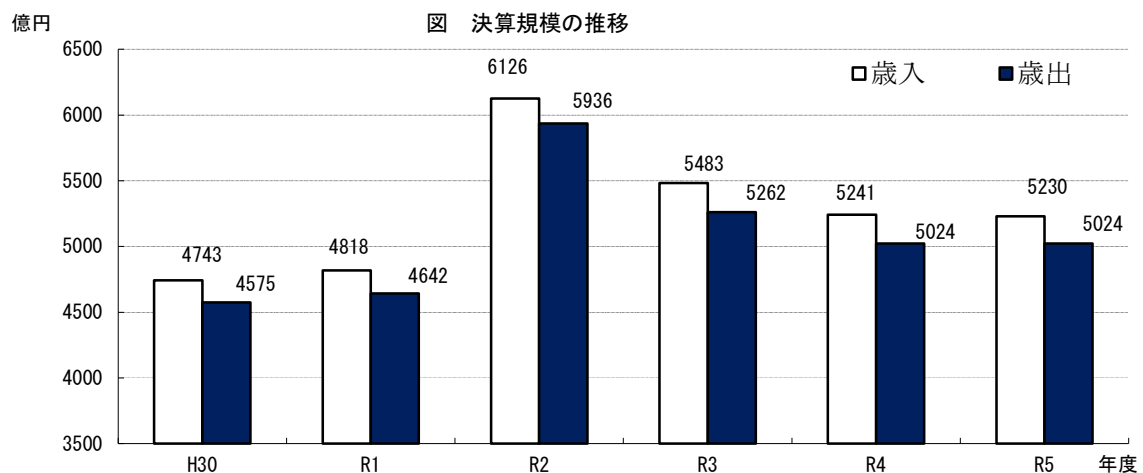
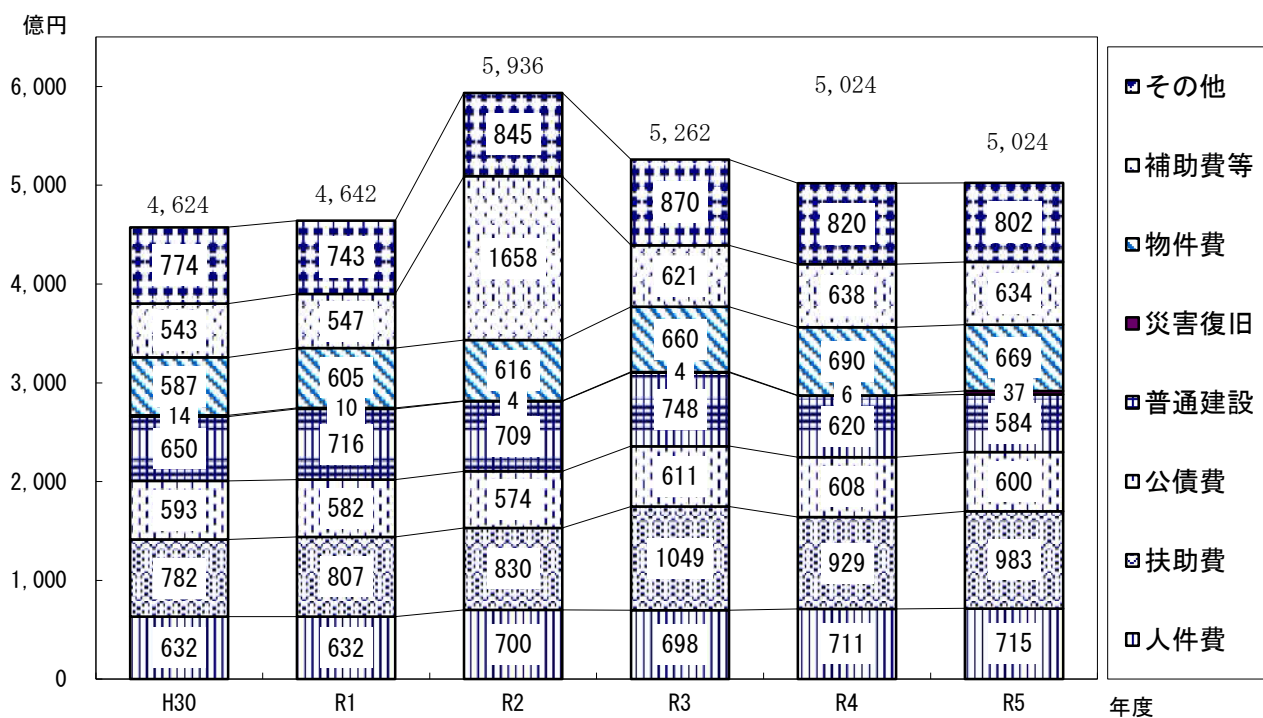
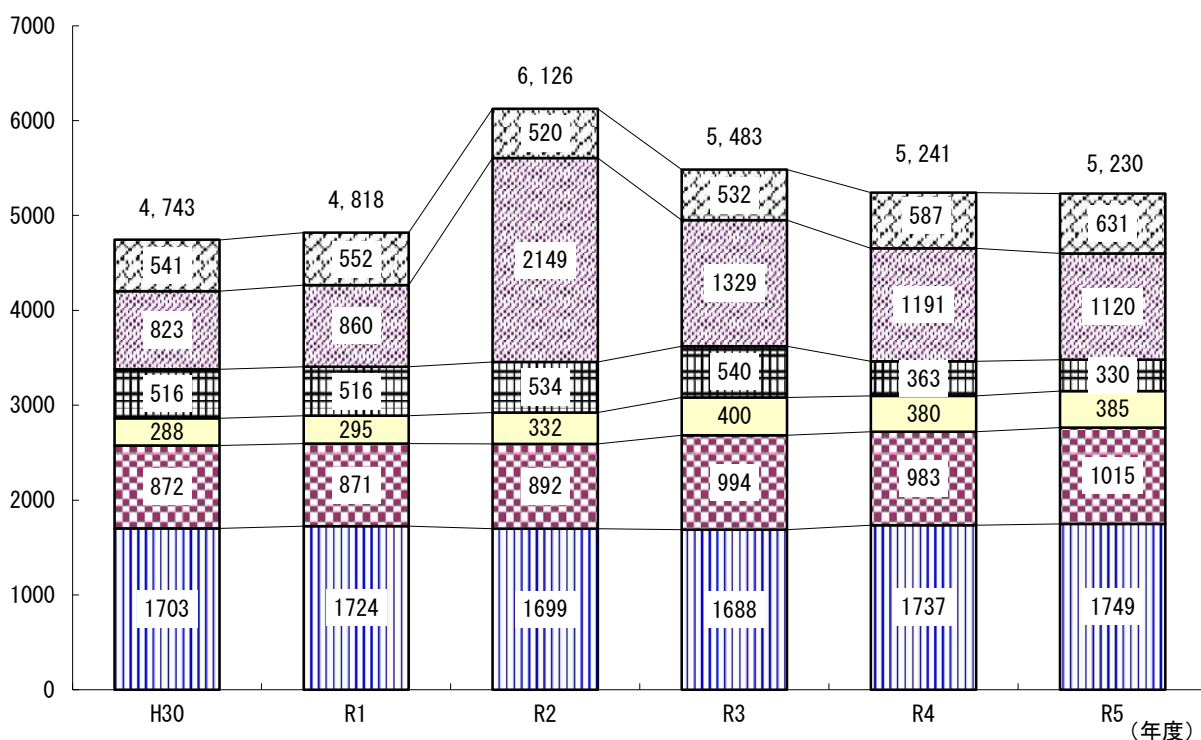


図 一般財源、特定財源の推移

図 一般財源、特定財源の推移
(億円)

一般財源： □ 地方税 □ 地方交付税 □ 地方譲与税等
 特定財源： ■ 地方債 ■ 国県支出金 ■ その他



2. 決算収支の状況

- (1) 形式収支 205億84百万円 (R④ 217億91百万円、▲5.5%)
- (2) 実質収支 158億63百万円 (R④ 179億27百万円、▲11.5%)

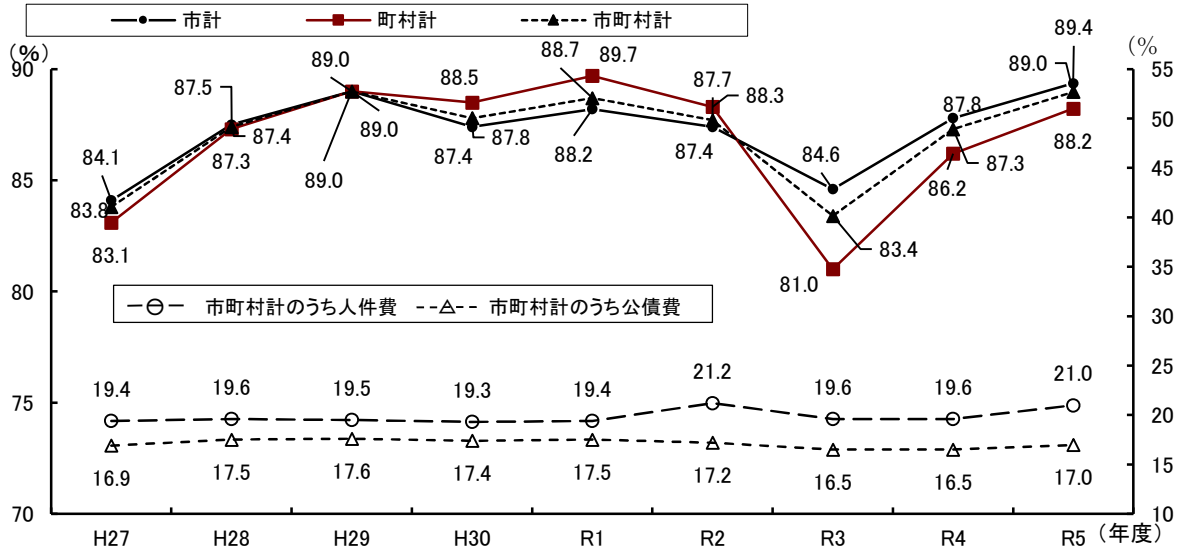
※ いずれも全団体が黒字

- ・ 単年度収支 ▲20億64百万円 (R④ 3億75百万円、-%)
- ・ 実質単年度収支 16億13百万円 (R④ 42億19百万円、▲61.8%)

3. 財政構造の弾力性

- (1) 経常収支比率は、89.0%（単純平均）（R④87.3%、+1.7%）
 (2) 全団体において経常収支比率が上昇

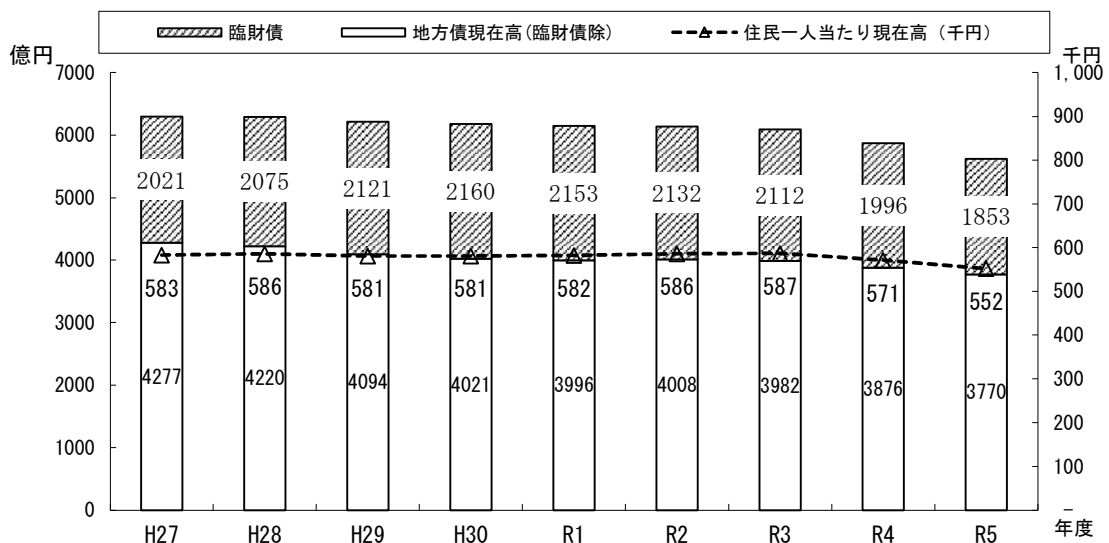
図 経常収支比率の推移



4. 将来にわたる財政運営

- (1) 地方債残高
 5,623億18百万円（R④5,871億51百万円、▲248億33百万円、▲4.2%）
 ・ 8年連続で減少
 ・ うち臨時財政対策債を除く地方債残高は
 3,770億14百万円（R④3,875億75百万円、▲105億61百万円、▲2.7%）
- (2) 積立金現在高
 1,333億14百万円（R④1,302億34百万円、+30億80百万円、+2.4%）
- (3) 地方債残高に債務負担行為額を加え、積立金現在高を差し引いた額
 5,232億75百万円（R④5,320億60百万円、▲87億85百万円、▲1.7%）

図 地方債現在高の推移



※算定基礎となる住民人口は各年度1月1日現在の住基台帳人口による